「第 51 回優秀環境装置表彰」

応募申請に係る各種提出書類の作成要領

一般社団法人 日本産業機械工業会

※各種ご提出書類は日本産業機械工業会ウェブサイト
第 51 回優秀環境装置表彰に関する「募集案内」ページ
よりダウンロードした様式を使用してください

●日本産業機械工業会 ウェブサイト「募集案内」ページ
https://www.jsim.or.jp/commendation/boshu.php

※様式４（装置の説明）ご作成の際は同ウェブサイト
「優秀環境装置表彰」ページに掲載している
「受賞装置の概要（結果報告）」を参照ください

●日本産業機械工業会 ウェブサイト「優秀環境装置表彰」ページ
https://www.jsim.or.jp/commendation/

【お問合せ先】
一般社団法人 日本産業機械工業会
環境装置部（担当：塚原、大川内）
TEL：03－3434－6820
E-mail：kankyo51hyosho@jsim.or.jp

提出書類

＊ 各提出書類において、ご説明・ご記入をお願いしている項目・内容に漏れがあった場合、厳正な評価（審査）ができかねます。ご提出前に必ず、ご確認くださいますようご協力のほどお願い申し上げます。
＊ 提出資料は原則、日本語表記でお願いいたします（商品名等を除く）。なお、日本語以外の言語で書かれた資料には日本語訳を添付してください。
＊ 応募申請書の「装置の説明」（様式４）をもとに、本表彰事業の報告書原稿案を作成いたします。原稿案は、受賞内定時に内容ご確認のご連絡を申し上げます。

■ 事前登録

Ⅰ.「事前登録書」（＊様式１）

※ E-mail により提出してください。

■ 応募申請

Ⅰ.「応募申請書」（＊様式２）
Ⅱ.「装置の概要」（＊様式３）
Ⅲ.「装置の説明」（＊様式４）
Ⅳ. 添付資料

ⅰ）カタログ、仕様書、フロー図、写真等
ⅱ）申請装置に関わる特許の取得等が有る場合は内容が分かる資料を添付
ⅲ）第三者機関（計量証明事務所、公設の試験研究機関等）が発行した応募申請装置の性能を客観的に証明する証明書（ユーザが取得したものでも可）が有る場合は添付

※「Ⅰ～Ⅳ」をファイルに綴じ（冊子）、**１部**ご提出ください。
（ファイルの表紙等、作成要領は 11 頁を参照してください。）
※ **電子ファイル**を記録メディアに保存し、紙ベースのファイルとともにご提出ください。
（お差し支えなければ電子メールにて送付いただいても当方は問題ありません）

- 「応募申請書」（＊様式２）…… PDF
- 「装置の概要」（＊様式３）…… Microsoft Word
- 「装置の説明」（＊様式４）…… Microsoft Word
- 添付資料（カタログ等）…… PDF
- 添付資料（特許関連資料）…… PDF
- 添付資料（第三者機関発行の証明書）…… PDF

【 事前登録書及び応募申請書の提出先 】
一般社団法人 日本産業機械工業会 「優秀環境装置審査委員会」事務局 宛
〒105－0011 東京都港区芝公園三丁目５番８号 機械振興会館 405
TEL：03－3434－6820 E-mail：kankyo51hyosho@jsim.or.jp

【 各種提出書類の作成要領 】

1．「事前登録書」«様式１»

「第５１回優秀環境装置表彰」 事前登録書

年　　月　　日

①会社・団体名				
②担　当　者	氏　名		部署 ・役職	
	連絡先 （住所 他）	〒 TEL：　　携帯（任意）： E-mail：〈注1〉		
③応募申請装置名	〈注2〉			
④分　　野	☐ ①大気汚染防止装置 ☐ ②水質汚濁防止装置 ☐ ③廃棄物処理装置 ☐ ④騒音・振動防止装置 ☐ ⑤土壌・地下水汚染修復装置 ☐ ⑥再資源化装置 ☐ ⑦温室効果ガス分離・回収・処理装置 ☐ ⑧上記①から⑦の技術に付属したエネルギー・資源利活用装置 ☐ ⑨化石資源の代替品製造装置 ☐ ⑩その他環境負荷低減に資する装置〈注3〉			
⑤装置概要	〈注4〉			
⑥共同開発	☐ 有　・　☐ 無〈注5〉	⑦共同申請 ※⑥共同開発「有」の場合	☐ 有　・　☐ 無〈注6〉	
⑧他者からの技術導入等	☐ 有　・　☐ 無〈注7〉			
⑨表彰の実績	〈注8〉			
⑩募集を知った媒体	☐ 日本産業機械工業会からの案内（DM） ☐ 日本産業機械工業会のウェブサイト ☐ 日本産業機械工業会の機関誌『産業機械』 〈注9〉	☐ 新聞・ウェブサイト等の記事 （具体的に：　　） ☐ その他 （具体的に：　　）		

【 ご提出先 】

一般社団法人 日本産業機械工業会　 環境装置部（担当：大川内）宛て

E-mail：kankyo51hyosho@jsim.or.jp

（TEL：03－3434－6820）

2025 年 6 月 27 日（金）までに、E-mail により事務局へ提出してください。

〈注１〉
・ 事前登録書を受付後、E-mail により事務局から「登録済み」の連絡をします。

〈注２〉
・ 一般に理解できる装置名を記入してください。
・ 装置名は、**最大 30 文字**（商品名を含む）としてください。
・ また、**商品名を併記する場合は、丸括弧で表示**してください。

〈注３〉
・ 該当する分野の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。（※複数可）
・ 該当する分野が複数に亘る場合は全てチェックし〔□」を黒く塗りつぶし（■）〕てください

〈注４〉
・ 応募申請装置は何をするための装置（システム）であるか、第三者が理解し易いように 400 字程度で簡潔にまとめてください。

〈注５〉
・ 該当する項目（有・無）の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。
・ **実証試験のための設備等を提供するのみは開発者には該当しません。**

〈注６〉
・ 該当する項目（有・無）の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。
・ 共同開発を行った場合は、共同で応募申請することができます。
・ 共同で応募申請する場合、「事前登録書」«様式１»は代表の応募申請者が提出してください。
・ なお、**単独で応募申請する場合は、必ず共同開発者の同意を得てください。またその場合、応募申請された同一の装置を、ほかの開発者が次回以降の本「優秀環境装置表彰」において応募申請することはできません（※著しい改良が行われた場合を除き、一度、評価・審査した装置を改めて評価・審査することはありません）。**

〈注７〉
・ 該当する項目（有・無）の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。

〈注８〉
・ 当該装置が本「優秀環境装置表彰」以外で表彰を受けた実績が有る場合は、その主催者名・事業名・受賞年度・賞の種類等を記入してください。

〈注９〉
・ 今回の募集を知った媒体について該当する項目の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。また、具体的な媒体について記入してください。

２．「応募申請書」«様式２»

「第 51 回優秀環境装置表彰」応募申請書

年　　月　　日

一般社団法人 日本産業機械工業会　御中

下記により応募申請いたします

① 会社（団体）名	
② 本店所在地	〒 〈注 10〉
③ 資本金 ※中小企業の場合	百万円　〈注 11〉 ※ 大企業（親会社）からの出資が資本金の 1/2 以上を占めている、または 大企業（親会社）からの役員出向が役員構成の 1/2 以上を占めている。　□ 有　・　□ 無
④ 従業員数	人
⑤ 代表者 役職名・ 氏名（ふりがな）	〈注 12〉　（　　）
⑥ 連絡者 部署・ 役職名・氏名・ 住所・TEL・E-mail	TEL： 携帯（任意）： E-mail： 〒
⑦ 応募申請装置名	〈注 13〉
⑧ 装置の概要	別添１のとおり　〈注 14〉
⑨ 装置の説明	別添２のとおり　〈注 15〉
⑩ 分野の別	□ ① 大気汚染防止装置　□ ⑥ 再資源化装置 □ ② 水質汚濁防止装置　□ ⑦ 温室効果ガス分離・回収・処理装置 □ ③ 廃棄物処理装置　□ ⑧ 上記①から⑦の技術に付属したエネルギー・資源利活用装置 □ ④ 騒音・振動防止装置　□ ⑨ 化石資源の代替品製造装置 □ ⑤ 土壌・地下水汚染修復装置　□ ⑩ その他環境負荷低減に資する装置〈注 16〉
⑪ 共同開発の有無	□ 有　〔　　〕　・　□ 無　〈注 17〉
⑫ 共同申請の有無	□ 有　〔　　〕　・　□ 無　〈注 18〉
⑬ 技術導入の有無	□ 有　・　□ 無　〈注 19〉

ⅰ）2025 年 7 月 18 日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。
ⅱ）2 者以上の共同で応募申請する場合は、応募申請者毎に作成してください。

〈注 10〉
・ **本店**の所在地（登記簿に記載されている住所）を記入してください。

〈注 11〉
・ 中小企業の場合は、※印の条件について、該当の有無を記入し〔「□」を黒く塗りつぶし（■）〕てください。

〈注 12〉
・ 代表者の欄には「会社（団体）」の代表者について記入してください（例：代表取締役社長、理事長 等）

〈注 13〉
・ 一般に理解できる装置名を記入してください。
・ 装置名は、**最大 30 文字**（商品名を含む）としてください。
・ また、**商品名を併記する場合は、丸括弧で表示**してください。

〈注 14〉
・ «様式 3 »により作成してください。（5 ～ 6 頁参照）

〈注 15〉
・ «様式 4 »により作成してください。（7 ～14 頁参照）

〈注 16〉
・ 該当する分野の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。（※複数可）

〈注 17〉
・ 共同開発者が「有」の場合は、相手企業名・団体名・個人名等を括弧内に記入してください。
・ なお、**実証試験のための設備等を提供するのみは開発者には該当しません。**

〈注 18〉
・ 共同開発を行った場合は、共同で応募申請することができます。
・ 共同で応募申請する場合は、相手企業名・団体名・個人名等を括弧内に記入してください。
・ なお、**単独で応募申請する場合は、必ず共同開発者の同意を得てください。またその場合、応募申請された同一の装置を、他の開発者が次回以降の本「優秀環境装置表彰」において応募申請することはできません（※著しい改良が行われた場合を除き、一度、評価・審査した装置を改めて評価・審査することはありません）。**

〈注 19〉
・ 応募申請装置の開発等に関し、**他者からの技術導入、特許の買取・譲渡等**が有る場合は必ず記入してください。
・ 該当する項目（有・無）の「□」を黒く塗りつぶし（■）てください。

（別添１）

装置の概要〈注 20〉

記載一例）

本装置は、○○○、□□□施設等で発生する×××を△△△処理する装置である。　〈注 21〉

⋮

本技術のポイントは、○○○、△△△、……であり、これにより従来装置の課題であった□□□、×××、……を解決した。　〈注 22〉

なお、特許２件を取得済み、１件を出願中である。

⋮

従来装置と比較し、×××除去率が○%向上した。

また、メンテナンスは○回/年、□□□するだけで良く維持管理が容易である。

⋮

装置の小型化（従来比○/○）により省スペース化を達成している。

また、従来の×××法と比較して、電力使用量○%削減、薬品使用量○%削減を達成し、維持管理費を年間約○%削減することが可能となった。

⋮

○○○施設を中心として既に○件の納入実績を有するが、さらに□□□、△△△、×××等の産業分野においても普及が見込まれる。

また、△△△であることから、今後は海外市場への展開も期待される。

2025 年 7 月 18 日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 20〉
- 常体（だ・である調）で記述してください。
- Ａ４判で１頁程度に収めてください。

〈注 21〉
- 応募申請装置は**何をするための装置（システム）であるのか**、第三者が理解し易いように、簡潔に説明してください。
- なお、「装置の説明」«様式４»において、その詳細を説明してください。

〈注 22〉
- **従来装置や類似装置と比較して特に優れている点について「独創性」「性能」「経済性」「将来性」の観点から、ポイントを簡潔に、また定量的に**説明してください。
- 比較対象の従来装置及び類似装置は原則、**市場にある（＝他社製）、申請装置と"同じ方式"の装置**としてください。同じ方式が無い場合は、従来主流であった方式と比較してください。
- なお、「装置の説明」«様式４»において、その詳細を説明してください。

ご申請装置を定量的ご説明によりＰＲしてください！

４．「装置の説明」«様式４»　※「応募申請書」別添２

（別添２）

装置の説明〈注 23〉

１．装置の詳細説明　〈注 24〉

記載一例）

本装置は、○○○、□□□施設等で発生する×××を△△△処理する装置である。

図表●に本装置の外観写真、図表●に構成図、図表●に処理フローを示す。

本装置は、図表●のとおり、◇◇◇、○○○、△△△、……で構成される。なお、図表●のとおり、○○○から発生した×××は、◇◇◇において……され、次に○○○で……される。さらに、△△△において……されることにより、……

従来×××法が主流であるが、□□□、×××、……の課題があった。本装置は、△△△の採用、○○○技術の開発を行うことにより、それら課題を解決し、×××除去率○%向上を達成するとともに、省スペース化、使用電力○%削減、薬品使用量○%削減等を実現している。

２．開発経緯

（１）開発経緯　〈注 25〉

記載一例）

近年、……であることから、○○○分野において、□□□、×××、……

そこで、……のニーズに対応するため、×××除去率向上、使用電力量削減、また、新設に加え既存施設への導入も可能な装置を目指し開発を行った。

以下に開発経緯を示す。

○○年～○○年	△△△調査開始
○○年～○○年	□□□技術の開発
○○年～○○年	実証機による実験
○○年	第１号機納入

（２）共同開発　〈注 26〉

記載一例）

本装置は、□□□株式会社と○○○株式会社が共同で開発を行った。

それぞれが担当した開発の内容は次のとおりである。

・□□□株式会社　　△△△調査、○○○評価、×××解析

・○○○株式会社　　システム構築、実証運転

（３）技術導入　〈注 27〉

記載一例）

○○年、×××株式会社より、□□□に関する技術導入を行った。

その後、当社において、○○○を△△△し、また、□□□を×××する等の改良を行った。これらの技術改良により、○○○を達成するに至った。

2025 年 7 月 18 日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 23〉
- **従来装置や類似装置との比較等により、具体的、かつ定量的に**説明してください。
- 比較対象の従来装置及び類似装置は原則、**市場にある（＝他社製）、申請装置と"同じ方式"の装置**としてください。同じ方式が無い場合は、従来主流であった方式と比較してください。
- 常体（だ・である調）で記述してください。
- Ａ４判で１０～２０頁程度に収めてください。

〈注 24〉
- 装置の**構造、原理、処理フロー等**を写真、図、表等を用いて第三者が理解し易いように説明してください。

〈注 25〉
- 開発の趣旨、目標、経緯等について説明してください。
- なお、開発経緯は、その年と内容を時系列的にまとめてください。

〈注 26〉
- 共同開発（共同申請の有無にかかわらず）の場合は、その旨を記述し、**それぞれが担当した開発の内容（役割分担）について明確に説明してください**。
- なお、共同開発が無い場合は**「無し」**と記載してください。
- **実証試験のための設備等を提供するのみは開発者には該当しません。**

〈注 27〉
- 他者からの技術導入、特許買取・譲渡が有る場合は、その旨を記述し、**技術導入後における改善・改良点について明確に説明してください**。
- なお、技術導入、特許買取・譲渡が無い場合は**「無し」**と記載してください。

＊ 日本産業機械工業会ウェブサイト「優秀環境装置表彰」ページ掲載の「受賞装置の概要（結果報告）」を参照ください

ご申請装置を定量的ご説明によりＰＲしてください！

（別添 2）

３．独創性 〈注 28〉

記載一例）

本装置では、△△△の採用、〇〇〇技術の開発を行うことにより、従来装置における課題であった□□□、×××を解決し、×××除去率〇%向上を達成するとともに、省スペース化、使用電力〇%削減、薬品使用量〇%削減等を実現している。

（１）△△△の採用

本装置では、……であることから△△△を採用している。〇〇〇分野へ適用するため独自に……、……等の改良を行い、……、……

（２）〇〇〇技術の開発

本装置における〇〇〇技術は、□□□の▽▽▽を……し、△△△を……する等の独自の工夫を行うことで、×××が……し、〇〇〇が可能となった。さらに、……、……

４．特許の有無

記載一例） 〈注 29〉

次のとおり、特許〇件を取得済み、〇件を出願中である。

なお、特許に関する詳細は添付●のとおり。

・出願番号：特願〇〇〇　／　名称：□□□方法

・公開番号：特開〇〇〇　／　名称：△△△装置

・特許番号：第〇〇〇号　／　名称：〇〇〇方法

５．性能 〈注 30〉

記載一例）

（１）×××除去性能

図表●に〇〇〇施設における従来装置と本装置の運転結果を示す。

本装置は、△△△の採用、〇〇〇技術の開発を行うことにより、×××除去率〇%向上を達成している。……

なお、第三者機関による性能評価試験を実施した。結果は添付●のとおり。

対比表記載一例）

	従来装置	申請装置
装置仕様		
入口×××濃度		
出口×××濃度		
×××除去率		

2025 年 7 月 18 日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 28〉

・ 従来装置や類似装置との比較等により、新規の技術や機能等の**技術的独創性**について説明してください。
・ 開発における新たな発想やコンセプト等があれば説明してください。

〈注 29〉

・ 応募申請装置に関わる特許の取得、出願中、予定等について記述してください。
・ なお、特許の取得等がある場合は、内容が分かる資料を添付してください（※添付資料）。

〈注 30〉

・ 従来装置や類似装置との比較等により性能について具体的かつ定量的に説明してください。
・ 性能を客観的に証明する証明書が有る場合は添付してください（※添付資料）。

＊ 日本産業機械工業会ウェブサイト「優秀環境装置表彰」ページ掲載の「受賞装置の概要（結果報告）」を参照ください

ご申請装置を定量的ご説明によりＰＲしてください！

（別添２）

（２）□□□の利活用

○○○施設において×××除去後に発生した□□□は従来、廃棄物として処分されていたが、本装置では○○○技術の開発を行うことにより、肥料や燃料としての利活用が可能となった。図表●に肥料及び燃料の各分析結果を示す。

（３）耐久性・安全性

本装置では、□□□部分、……に○○○を採用することで……し、安全性が高まった。また、……△△△構造を採用することにより従来装置に比べ耐久性が高まり、…… 〈注 31〉

（４）運転・操作性

本装置では、新たに△△△に関して自動制御システムを採用し、手動介入がほとんど必要なくなり、運転・操作性が大きく向上している。また、……

（５）維持管理性

本装置で採用している△△△構造はシンプルで可動部が少ないため、維持管理は従来装置に比べ容易であり、メンテナンス費用も安価（従来比○%）で済む。

６．経済性

記載一例） 〈注 32〉

従来装置と比較すると△△△であるため、装置の小型化（従来比○/○）により設置費用を○%縮減でき、□□□の肥料及び燃料利用により廃棄物処分費用が不要となるとともに肥料や燃料の売却収益が見込める。また、使用電力○%削減に加え、発電設備による売電収益が……

対比表記載一例）

	従来装置	申請装置	
イニシャルコスト	100	73	
装置費用	100	80	
設置費用	100	70	
ランニングコスト	100	70	
電気代 消費電力 売電収益	— 100 100	— 90 120	
ガス代	—	—	
薬品代	100	110	
メンテナンス費用	100	50	

イニシャルコスト増加の場合の記載一例）

年間ランニングコスト○%削減を達成したことにより、○年で回収できる。

2025 年 7 月 18 日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 31〉

・ 併せて、耐久性・安全性、運転・操作性、維持管理性、他の環境因子等への相乗効果等について説明してください。

〈注 32〉

・ 従来装置や類似装置との比較等により、経済性について説明してください。
・ なお、比較の対象とする装置がどの様な装置であるか、説明してください。
・ イニシャルコスト、ランニングコスト等の総合的かつ長期的な経済性評価のために必要な事項を具体的、かつ定量的に記述してください（※従来比○%等の記述でも可）。
・ 申請装置が稼働する際の省エネルギー、省資源、省スペース、省人化等の効果について説明してください。
・ また、売電収益、有価物売却益等が見込まれる場合は説明してください。
・ 併せて、“記載一例”のような対比表を作成してください。

＊ 日本産業機械工業会ウェブサイト「優秀環境装置表彰」ページ掲載の「受賞装置の概要（結果報告）」を参照ください

ご申請装置を定量的ご説明によりＰＲしてください！

（別添２）

７．将来性　〈注 33〉

記載一例）

○○○施設を中心として既に○件の納入実績を有するが、本装置は◇◇◇であることから、さらに□□□、△△△、×××等の産業分野においても普及が見込まれる。また、▽▽▽であることから、今後は海外市場への展開も期待される。

記載一例）

現在、○○○処理施設は国内に約○か所あり、今後更新の時期を迎える施設は約○か所であるが、□□□、×××等の観点から従来装置に比べ優位性が高く、また、新設に加え既存施設への導入も可能であり……

８．納入実績　〈注 34〉

（１）第１号機

① 装置の仕様

② 装置の納入先

③ 納入時期

④ 稼動状況（稼働時間を含む）

⑤ トラブル発生の有無

（２）納入実績　〈注 35〉

以下のとおり、○○年に第１号機を納入後、計○件○基（台）を納入。

記載一例）

No.	納入先	規模	数量	納入年月

９．その他　〈注 36〉

2025 年 7 月 18 日（金）までに事務局へ提出してください（※必着）。

〈注 33〉
- 申請装置に関する現在の市場規模と今後の市場動向等から普及の可能性について説明してください。
- 従来装置や類似装置との代替、他分野や海外への適用の可能性等について説明してください。

〈注 34〉
- 第 1 号機の詳細（①～⑤）について説明してください。
- トラブル発生が有る場合は、原因と対策、その後の状況等について説明してください。

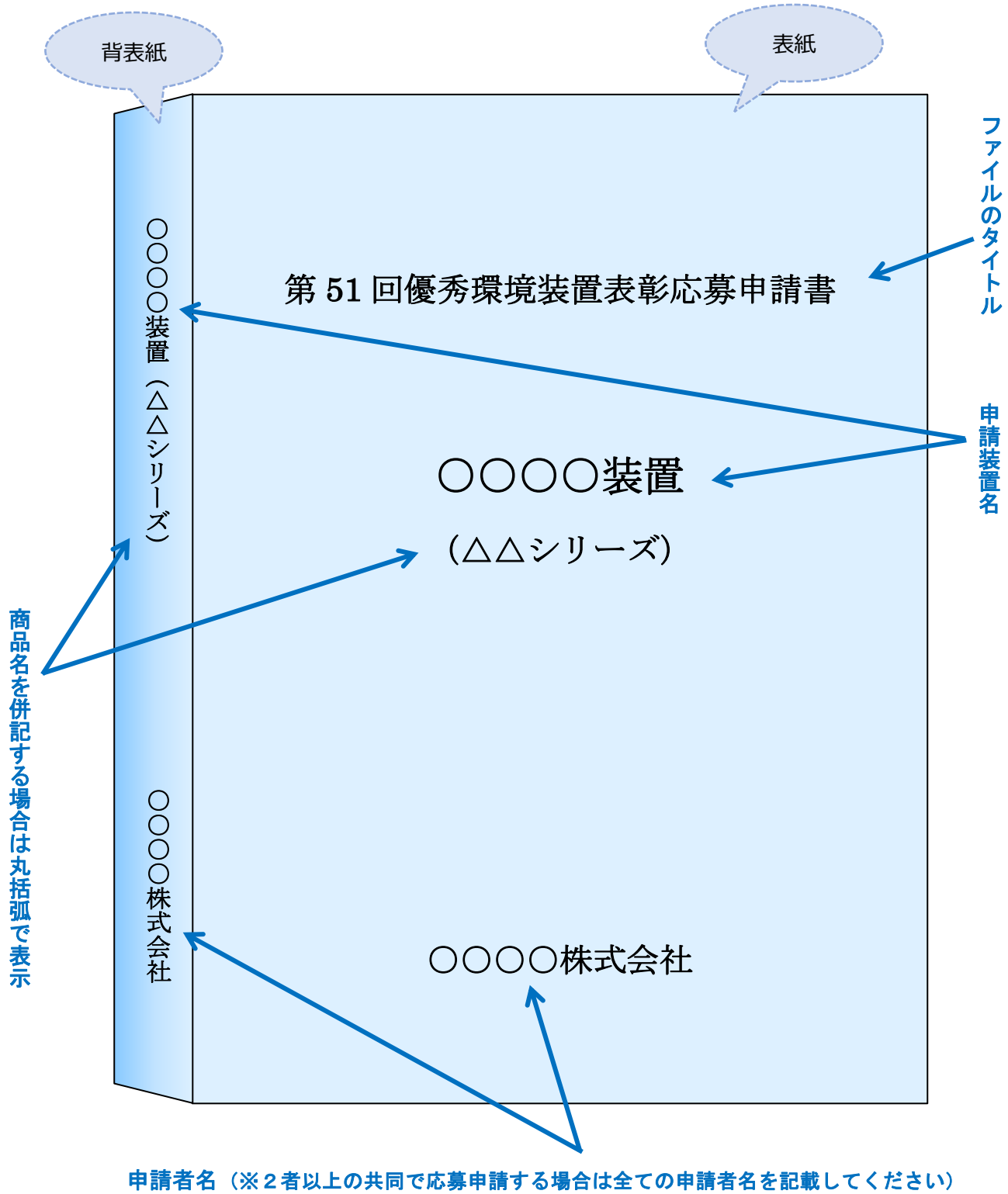
〈注 35〉
- 納入実績表を記載してください。
- まだ納入実績が無い場合は「無し」と記載してください（※ただし、申請装置・システムの性能が十分に評価できる規模及び運転期間を有するものが表彰の対象となります）。
- 製品名、スペック、納入先（ユーザー名）、納入年月等を一覧表にまとめてください。
- 納入先（ユーザー名）の固有名詞を記載することが難しい場合は伏字で差し支えありません。その場合は、納入先の分野（食品、石油化学、地方自治体など）が分かるようにしてください。
- なお、納入件数及び納入台数の合計値を記載してください。

〈注 36〉
- その他、参考となる事項があれば記述してください。
- 特記事項が無い場合は、本項目「９．その他」は削除して差し支えありません。

＊ 日本産業機械工業会ウェブサイト「優秀環境装置表彰」ページ掲載の「受賞装置の概要（結果報告）」を参照ください

ご申請装置を定量的ご説明によりＰＲしてください！

≪ファイルの作成要領≫

※ 市販のフラットファイル等をご使用の上、１部（１冊）ご作成ください。

※ 様式２、様式３、様式４、添付資料をファイルに綴じてください。